



戦争法案 衆院での強行採決の暴挙糾弾!



消費税は憲法違反・戦争への道許さない

広げよう草の根から消費税増税反対の声を



大阪経済大学経営学部客員教授

岩本沙弓さんを迎えて学習

消費税増税に異議あり
消費税廃止東京各界連絡会は6月27日けんせつプラザ東京で「広げよう草の根から、消費税増税反対! 学習と活動交流会」を開きました。学習では大阪経済大学客員教授の岩本沙弓さんを講師に迎え90分にわたって「消費税増税に異議あり」と題して、消費税増税が日本経済の発展を阻害しており、アベノミクスは米国でさえ評価されていないこと、米公文書から引き出した膨大な資料を屈指して講演されました。

消費税増税で日本経済は発展が止まる

参加者からは「今回の公演は経済学から見たの講演だったのでよかった」「消ソに毒されているかわかった」などの感想が寄せられました。行動提起で「戦争立法と結んで安倍暴走ストツプの運動に合流を」「10%増税反対の共同を広げよう」の決議を採択しました。

消費税をなくす東大和の会、大田六郷の会、板橋土建が発言

日常的に草の根で活動する各地の「消費税なくす会」が日頃の活動を披露しました。

消費税をなくす東大和の会 設置。自動車パレードなど草の根で展開しています。太田六郷の会の活動を、蒲田民商会長の池田さんが発言、「8%になって黙っていたら10%になる。このままだと商売やっていけない」と、昨年5月に「消費税をなくす六郷の会」を立ち上げ、学習会と商店街、駅宣伝をやってきた。増税許さぬ闘いに全力を」と発言。「消費税をなくす板橋の会」と消費税廃止板橋各界連の合同の活動を報告。18団体を擁する板橋各界連は毎月世話人会議を開き、学習と運動の立案・提起し、署名、区議会へ意見書の提出など旺盛な活動を展開している内容を報告しました。

いたるところで「安倍さんやめさせよう!」の声が届きます。

憲法9条を踏みしり「海外で戦争できる国」につくりかえる戦争法案が7月16日の衆院本会議で自民、公明両党によって強行採決されました。審議すればするほど憲法違反が明らかになり、「反対」「説明不足」の世論が一段と高まり、安倍自公政権が広範な世論に追い込まれての暴挙です。

国会には連日「アベ政治を許さない」のスローガンを掲げた数万の人が押し寄せ、倒へ全力を上げましよう。

せ、全国津々浦々で「怒り」の集会も旺盛に開かれ、若者や女性の自主的な参加が特徴です。

なくす会の宣伝・署名活動にも「安倍さんはやめてもらうしかない」がどこでも共通した声です。

消費税が戦費調達のためであることも明確になってきました。草の根から戦争法案廃案と消費税増税ストツプを掲げ、労働法制や福祉切り捨てなど生きることへの攻撃も根っこは同じ、共同の輪をひろげ安倍内閣打倒へ全力を上げましよう。



安倍政治は許さない! 広がる怒りの声は止まらない



公明党本部にも抗議のパレードが押し寄せる。インターネットより



（6月27日 渋谷八丁公前でシルズの集会での青年の訴え）

人間の尊厳をかけて
この国は、普遍的な人間の尊厳を踏みしりついでいます。権利を獲得するために先人たちは血を流しました。そして言葉を、理想を、命をかけて未来を届けてくれた。安倍首相あなたたちのやっていることは我々人類への、先人への侮辱です。私たちはあなたを置いて前に進みます。人間の社会は進歩するのです。近いうち歴史が証明するでしょう。



戦争法案をめぐる緊迫した国会情勢の中、7月13日東京各界連絡会が大塚駅で12時から宣伝・署名行動。東商連、自公連、民医連など各界連に参加する団体が共同で取り組みました

戦費調達の増税許すな! 共同の力を発揮して消費税廃止東京各会連絡会

「10%増税中止と戦争法案撤回を」の訴えに 次々署名

消費税をなくす板橋の会と消費税廃止板橋連絡会は6月24日成増駅南口で定例宣伝を行いました。

安倍自公政権は戦争法案を通すために戦後最長の会期延長を強行しました。

もし、戦争法案を成立させれば、軍事費は莫大に跳ね上がり消費税が使われ増税につながります。「10%への増税中止と戦争法案撤回せよの声を大きく高めましよう」と訴えたところ通行人が次々と署名し35名が集まりました。ピラ・ティッシュ250個配布、行動に10人が参加しました。

（板橋・今井和幸東京の会世話人から通信をいただきました）

安倍暴走 世論で包囲を!

都内キャラバンしー宣伝

各地の「なくす会」と共同の作戦を展開

戦争法案廃案と消費税10%増税反対の2つの署名をもって

「消費税をなくす東京の会」も事務局団体として参加する「消費税廃止東京各界連絡会」は、毎月大塚駅で定例宣伝を行ってきましたが、「戦争法案」で緊迫する政治情勢に配慮、さらに安倍暴走を世論で包囲しよう、ターミナルや集合団地など都内全域を地元のなくす会や地域各界連の活動とも協力して年内を都内キャラバンしー宣伝を展開することを決めました。

この活動は戦争法案を廃案に追い込み、安倍政権退陣への流れをつくり消費税増税中止への展望を大きく広げる運動をめざすものです。

第一回目は7月17日(金)に、JR上野公園駅、浅草雷門、JR北千住駅の3カ所で一カ所一時間づつ、宣伝・署名、「黙っていたら10%」のパンフとティッシュを配布しました。この行動には述べ25団体59人が参加しました。

宣伝カーは東京地評の宣伝カーが



「消費税をなくす東京の会」も事務局団体として参加する「消費税廃止東京各界連絡会」は、毎月大塚駅で定例宣伝を行ってきましたが、「戦争法案」で緊迫する政治情勢に配慮、さらに安倍暴走を世論で包囲しよう、ターミナルや集合団地など都内全域を地元のなくす会や地域各界連の活動とも協力して年内を都内キャラバンしー宣伝を展開することを決めました。

と怒りの声がよく寄せられました。浅草雷門前では、雨も上がり、外国観光客が沢山行き交う中での宣伝署名活動でしたが、前日の国会での暴挙に怒り、こぶしを上げて「頑張りなさい」と激励してゆく人も。東京土建と小竹ひろ子都議、民医連北川さん、浅草民商の小原さんが訴えました。

宣伝カーは音を出しながら移動。北千住駅では20名が待ち構え、大島よしえ都議を先頭に土建、新婦人、民医連が訴えました。「安倍さんをやめさせなければ日本は大変なことになる」「消費税が戦争税というのは今の安倍さんやっているのを見るとよくわかる」「本当に頑張りなさい」と言いながら署名。戦争法案反対と増税反対の2つを同時にしてもらいました。

ダメなものダメ! 一緒に声を上げましょう

太田六郷の会総会

7月6日、消費税をなくす大田六郷の会が第2回総会を開きました。雨の中40人が参加、「皆さんが力合わせればこんなこともできる」と確信になりました。

新しい顔ぶれもあり、輪が少しづつ広がっていることが示されました。渦中の戦争法案が消費税と表裏一体のもの、戦争の財源が消費税「ダメなものダメ!」と声を上げようと誓いました。

第2回総会 賑やかな開催! 乾杯

終戦70年の今年「消費税 憲法変えれば戦争税」が現実になるうとは9条をもつ国として許せないことです。しかしながらこのような付加価値税がローマ時代戦争を端に発したことを思えば当然のことなのかもしれない。消費税の中にはいつも戦争を孕んでいる。(日本でも世界でも戦前は行われていた)平和を望むのならこの危険な消費税は無くさなければなりません。戦争も消費税も関係のない子どもやお年寄りなど一番弱い者が一番被害を被る点もよく似ています。

私は敗戦の色濃い昭和19年「産めよ増やせよ」と50才近い母から5番目の子として生まれ、

戦争と消費税

消費税をなくす江東の会 藤谷秀子

め、雛人形を片すこともできないまま3月10を迎えました。人形とともに奇跡的に助かりました。この人形は、平和びななど北砂にある戦災資料センターに展示されています。

買ったのに蛤大の小さな人形なのにとでも高かったと父はぼやいていました。女の子は兵隊になれないから「賢沢は敵だ」とばかりにたくさん税をかけられていたのでしょうか。同じ子供

公平な集め方だけでなくその使い方が怪しいと。26年間、国民には内緒で沖繩をはじめ各地の自衛隊と米軍基地の拡大強化が着々とすすみ、それらを担う大企業の法人税は減税の連続。もう隠しようがなく、安倍首相の戦争立法がいつに出てもいい。少子高齢化のためと嘘をつくことも大本営発表と同じです。いま、保育所が足りない、特養も入れないというやく現実に気がつき始めました。戦前は勝つためとはいえ何でも許されていた。戦後は福祉のためといえれば3%、5%、8%、10%と許されると思っているのではありません。戦後再び消費税が始まったとき、嫌な予感がしました。もうその手は効きません。

CHIHIRO CALENDAR いわさきちひろカレンダー 世界中の子ども みんなに平和としあわせを

このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。

いわさきちひろ作品普及会